

## 東京 2025 デフリンピック関連の取組について

手話の普及を進めて共生社会を実現するためには、その前提として、ろう者への理解を促進することが重要である。東京2025デフリンピック開催を控えたこの機会に、県はデフリンピック選手等が出演する動画を作成し、ろう者への理解促進を図ることとしており（参考資料1）、デフリンピック関連の主な取組を紹介する。

### 1 デフリンピックの機運醸成

東京 2025 デフリンピックの開催を契機に、聴覚障がい者への理解や障がい者スポーツの推進を図るため、デフスポーツの体験等を行う大会1年前イベントの開催や、プロスポーツ選手等と連携したPR活動等により、大会の機運醸成を行う。

### 2 大会レガシーの創出

- デフリンピック選手が出演する動画の作成及び周知を行い、日頃、手話やろう者へ接する機会の少ない方も含め理解を促進する。（詳細は参考資料1参照）  
作成した動画は県HPや市町村周知、YouTube インストリーム広告やトレインビジョンでの集中的な広報、デフリンピック事前イベント等を活用して周知予定
- 国際手話の普及のため、手話通訳者等を対象とした国際手話の講座を開催する。

今後も当事者団体と連携しデフリンピックの機運醸成に取り組み、大会を契機としたろう者への理解と手話の普及を図り共生社会の実現を目指していく。